

ブックレビュー

●鉄鋼サバイバル —ニューコアとアイバーソンの挑戦—●

Richard Preston 著, 三谷一雄 訳
 昭和テクノシステム(株)販売 (TEL(03)5232-0721)
 A5判 464頁, 定価4,500円(税込)

1990年代初頭, Indiana州Crawfordvilleに電気炉—薄スラブ連続—In Line Hot Rollingプロセスを立ち上げ, 引き続いてHickmann新製鋼工場を速やかに立ち上げ, 今またIron Carbide製造の新プラントに挑みつつあるNucor社のルーツは?, その企業体質は?……これらは製鋼技術者にとって重大な関心事である。本書はNucor社のルーツ, 同社を現在のアクティビティに導いたIverson会長の個性とその経営方針, を導入部に置き, Crawfordville工場の建設から操業開始に至る間の状況をドキュメントした読物である。著者のPreston氏はワシントンポスト, ニューヨークのドキュメントライターとして科学技術分野で活躍してきた経歴の人という。巨大な建設現場(ミニミルとはいえ)をクレーンの高みから描き, 電気炉のアークの閃光に驚き, メルトダウンした溶鋼の流動への感嘆をあたかもターミネーター2の映像のごとく表現する部分は読物として印象的である。ドイツ, SMS社の新しい薄スラブ連続技術導入の決断とその建設, 試運転の経緯, 操業開始当初に起きた溶鋼鍋落下事故の場面などのドキュメンタリータッチの記述は, 非鉄鋼マンによる製鉄現場の本格的ルポといえる。著者が感じた鉄鋼製造現場のアクティビティとNucor社の新技術にかけるダイナミズムへの共感が本書を一貫して流れており, 一般の人々にも読んでもらい鉄鋼業の理解の一助にしてみたいとの感想を持つ。

SMS社の薄スラブ連続機の安定操業のためには各種のメタラジーの改良が必要であったことは周知である。本書の中で若きメタラジストとして主役を演じているMillet氏も国際会議の場ではこれに関する発表を行っているが, ここではその側面は読めない。巻末の新連続機の図面, 明瞭な写真が製鉄技術紹介の技術書としての片鱗をうかがわせるだけである。

本書のタイトルを1950年代, 1960年代の日本に置き換えることも可能である。欧米の新技術を導入しつつダイナミックに臨海製鉄所を建設していった頃の日本がCrawfordvilleであり, 農村から, 漁村から製鉄所に向かった日本の人々が, 初めて溶鋼に触れ, 驚きつつ鉄鋼マンとして成長していったIndiana州のカウボーイ達ではないだろうか。

Nucor社は, 新しい技術の導入で, 小さな本社で, 確かに成功し成長し続けている。その遠い先は? それは, その場に来てしまったかもしれない本書を読む日本の鉄鋼マンが自ら考える事なのかもしれない。示唆に富む本書を日本に紹介された三谷氏の思いもここにあるのではないしつつ, 同氏の翻訳の芳に感謝の意を表したい。(川崎製鉄(株)鉄鋼技術本部 桜谷敏和)

会 員 欄

入 会

(94年)

- 石渡 明夫
- 大谷 康彦
- 倉原 尚良
- 小齊 平健
- 佐藤 文則
- 塩沢 修一
- 柴田 充蔵
- 出澤 正
- 仲野 真人
- 早戸 克尚
- 松尾 征夫
- 和嶋 潔
- 池田 幸弘
- 緒方 政彦
- 小縄 力
- 小檜山 昭彦
- 佐藤 健太郎
- 長島 康雄
- 中野 稔陽
- 中津川 学
- 旗手 崇文
- 濱口 惣
- 本屋敷 洋一
- 門田 和久
- 山岸 新一
- 山田 善郎
- 猪子 富久治
- 上村 泰正
- 木村 正嗣
- 久保田 邦親
- 杉本 修一
- 龍岡 照久
- 古谷 仁志
- 方 蘇春
- 松永 尚
- 吉田 博司

- 高 道徳
- 赤尾 謙一郎
- 市野 健司
- 小原 一樹
- 定広 健一
- 篠原 章翁
- 志摩 哲郎
- 高 友吾
- 虎尾 彰
- 古川 幸夫
- 横田 廣幸
- 渡辺 誠
- 五十嵐 正晃
- 河中 啓之
- 菊池 文彦
- 近藤 邦夫
- 佐々木 剛
- 笹目 欽吾
- 清水 博文
- 高田 直澄
- 谷山 明
- 中村 正久仁
- 沼田 光裕
- 藤井 憲和
- 正木 秀尚
- 藤井 邦彦
- 兼安 信太郎
- 杉岡 英一郎
- 山本 克之
- 岡部 靖
- 鎌田 千綱
- 藤井 幸生
- 池ヶ谷 潤
- 石川 敏広
- 大石 正樹
- 大山 高輝
- 杉本 晃久
- 尾崎 龍夫
- 渡邊 聡
- 佐藤 克也
- 中川 剛
- 趙 一紅

- 伊東 敦史
- 高井 治
- 長塩 隆之
- 今田 文一
- 内田 博幸
- 河原田 隆
- 笹谷 賢一
- 高宮 博之
- 中上 正博
- 馬場 栄次
- 伴 充行
- 丸山 尚士
- 前野 幸彦
- 麦嶋 一大
- 四谷 進
- 坂本 徳八郎
- 佐々木 正人
- 有岡 照晃
- 井上 周一
- 岩見 晋宏
- 江口 泰寛
- 遠藤 弘之
- 音川 順信
- 小川 博之
- 岡村 司
- 川上 良雄
- 兼尾 昌宏
- 河野 晃彦
- 角谷 秀紀
- 木下 健
- 京本 達典
- 桑山 彰崇
- 高野 芳治
- 近藤 裕之
- 近藤 隆一
- 齊藤 俊太郎
- 坂口 英徳
- 坂井 重哲
- 島田 哲也
- 鈴木 政則
- 関屋 政洋
- 武田 了

- 高田 英紀
- 田中 浩司
- 津井 祐司
- 津山 忠久
- 佃 宜和
- 永井 秀雄
- 中川 義明
- 中務 孝広
- 長尾 貴文
- 夏井 宏裕
- 根石 貴豊
- 野村 正勝
- 本田 英二
- 平野 滋幸
- 松村 伸一
- 松倉 節夫
- 村山 芳也
- 林 亮
- 馬場 真二郎
- 早川 一
- 原口 秀晃
- 平山 克郎
- 平林 伸康
- 堀内 満喜
- 洪 瀾
- 松本 明
- 山田 淳二
- 館田 直幸
- 弓削 博
- 米田 裕紀
- 渡辺 務
- 奥野 隆一
- アハト ヴァンヂイ
- 小川 和洋
- 菊山 正剛
- 川端 敦
- 高 鴻
- 小松 郁夫
- 近藤 幸一
- 近間 大志
- 柴田 浩幸

退 会

(94年)

- 星野 将史
- 讀井 昭二
- 末広 正芳
- 中平 徹
- 原 勝成
- 古澤 英哉
- 福富 洋志
- 富塚 俊一
- 越川 隆雄
- 河野 通義
- 横山 靖
- 竹中 正樹
- 太宰 武生
- 石橋 源一
- 永井 紀雄
- 長谷川 浩
- 平林 哲
- 守永 光男
- 太田 明男
- 伏見 直哉
- 江島 優
- 脇田 英太
- 佐藤 繁
- 渡辺 秀幸
- 品川 岩美
- 木俣 豊
- 佐坂 晋二
- 古田 和昭

入 会

(94年)

- HAN, Jeong Whan
- LEE, Sung Soo
- PI, Yong Jin
- HA, Seong Kee
- SUM, Young Keun
- SHYNG, Quen Guey
- TSAI, Sing Tsu
- QI, Bao Ming
- SUNDELIN, Bo Store
- CHONG, Sooi P.
- POVEROMO, Joseph J.
- BOUMAN, Robert William
- GRANT, Michael G. K.
- HYUN
- HUR
- HAN, Deok Bong
- COX, John R
- SENGUPTA, Narayan
- PRAKASH, Swatantra
- MORRISON, Anthony Lindsay
- GUPTA, Shyam Sunder
- QUINN, Grant William
- SAMPAIO, Ronaldo Santos
- CHUNG, Im An
- YANG, Jae Hong
- OH, Ji Eun
- BABICH, Alexander Ilyitch
- YAROSHEVSKY, Stanislav Lvovich
- MIHOVSKY, Mihail Kaltchev
- TZONEV, Tzonio Pentchev
- PAGLIUCCI, Cario

死亡退会

(94年)

- 御冥福をお祈り
 申し上げます
- 楯岡 正毅
- 田辺 潤平
- 天満 英昭